

## ⑧ 対策立案 コース構成表 (第1期)

資料1-3

No.	H27年度研修の体系の単元(案) (第4階層)		単元 (第4階層)	手法	単元の概要	学習目標 (第5階層)
1	対策立案総論	維持	対策立案総論	座	災害対応における作成の立案の考え方と情報統括、活動サイクル、体制について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害対応における対策立案の位置づけを説明できる。</li> <li>事前計画と当面実行計画の関係について説明できる。</li> <li>効果的な災害対応を動かすためのプランニング能力について説明できる。</li> </ul>
2	業務体系	統合	当面の実行計画の構造	座	当面の実行計画の果たすべき役割と基本的な構造について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標による管理の重要性を説明できる。</li> <li>状況分析と状況認識の統一から災害対応計画の立案までの考え方を説明できる。</li> <li>資源配置と文書管理、撤収について説明できる。</li> </ul>
3	状況分析	統合	計画立案のプロセス	座	当面の実行計画の立案のプロセスについて学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の収集ととりまとめ報の作成、状況認識の統一の流れを説明できる。</li> <li>状況分析を基にした災害対応計画の立案までの流れを説明できる。</li> <li>活動方針(目的)に沿った組織編成と資源配置の流れを説明できる。</li> </ul>
4	情報システムのあり方	⑦「指揮統制」⇒ 拡充	⑦「指揮統制」⇒ コース変更 災害対策本部運営演習	演	災害発生後の限られた情報の中で状況を推測し、対応方針を検討し、計画を立案し、活動を調整しながら、災害対策本部会議において対策を決定する手法を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織的な災害対応を行う際に、目標を設定する重要性を説明できる。</li> <li>適切な目標の内容を、事例を挙げながら、説明できる。</li> <li>設定した目標を、組織的に管理する方法を説明できる。</li> </ul>
5	資源配置	統合				
6	PlanningP	維持	事前の災害対応計画の構造	座	事前の災害対応計画の果たすべき役割と基本的な構造について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害情報処理の考え方について説明できる。</li> <li>共通状況図 common operation paper の事前準備の効果について説明できる。</li> </ul>
7	とりまとめ報作成演習	統合	効果的な地図作成手法	座	統合された情報システムとGISの活用の有効性について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>静的/動的情報の違いを説明できる。</li> <li>統合された情報システムについて説明できる。</li> <li>GISの活用による地図作成手法を説明できる。</li> </ul>
8	情報発信(広報)演習	⑦「指揮統制」⇒	⑦「指揮統制」⇒ コース変更 効果的なマニュアル作成	演	災害対応の事例を基に災害対策本部マニュアルの作成を演習形式で学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害対応におけるプロジェクトマネジメントの枠組みを説明できる。</li> <li>実効性の高いマニュアルを作成するための手法および概念を説明できる。</li> </ul>
9		廃止				
10	全体討論	維持	全体討論	演	災害対応マネジメントにおける計画立案について学んだことを、災害対策本部運営にどのように反映させるのかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修受講の目的を再認識する。</li> <li>研修を通じて、学び、得たものを整理する。</li> <li>研修を活かして次につなげることを認識する。</li> </ul>